

# 施工要領書 ハウスバイザー

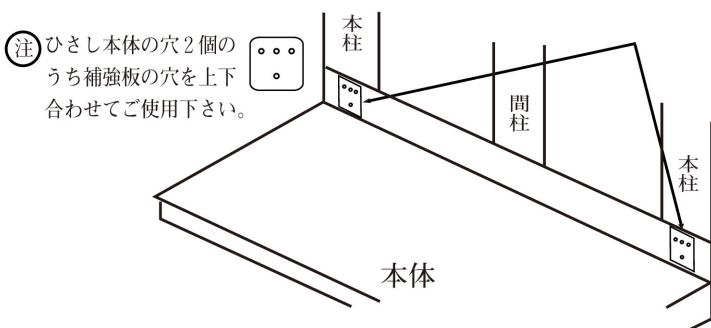
このたびは、当ひさし製品をご採用いただきありがとうございます。

**施工の前に** 製品を正しく施工していただくために説明書の内容をご確認下さい。

**注意** 製品の上に乗ったりはしごをかけたりしないで下さい。

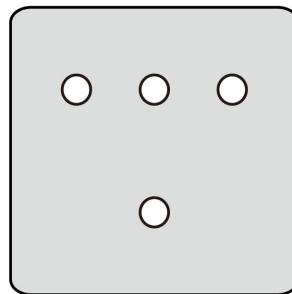
**取付時の注意** ひさしに足をかけたり、上に乗ったりぶら下がったり、足場代わりにしないで下さい。

## 全体構成図



補強板(間柱ピッチ一つおきで取付けてください。)

補強板  
44mm \* 44mm



**施工対象:** 木造在来工法、RC、ALC、鉄骨造

## お願い

- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書にしたがって必ず行ってください。漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのない事を確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因になります。
- 外壁に不適切な釘やビスを用いた場合、下地不陸による施工不良、また下地の強度不足等による躯体破損・事故などの損害については、当社は一切責任に応じかねますのでご了承下さい。
- 多雪地域では「巻きだれ」が庇に落下し、人身事故や製品破損の原因となりますので、雪が上部（上屋）から落下する恐れのある箇所への取付けは絶対に行わないで下さい。
- 製品の小口は鋭利なので、軍手等を使用し、素肌をさける服装にして下さい。
- 吸水性・浸透性のある外壁材に施工される場合、外壁材が吸収した雨水等が、設置した当製品よりも下の部分から染み出す場合がありますが、当製品の不良に起因するものではありませんのでご了承ください。
- 通気工法の外壁材に施工される場合、通気層を伝った水が外壁材下部の水切り付近から排水されますが、当製品の施工不良に起因するものではありませんのでご了承ください。

## お施主様への確認

**使用上の注意:** 積雪が約50cmを超える前に雪おろしをしてください。破損の恐れがあります。  
※上記の数値は積雪量 1cm当たり 3kgf/m<sup>2</sup>で計算しています。豪雪地域や湿った雪の場合、1cm当たりの重さがさらに大きい場合がありますので早めに雪おろしを行ってください。

**施工上の注意:** 建物の屋根雪が直接落ちる場所には取付けないでください。  
性 能: 1,500N/m<sup>2</sup> (153.1kgf/m<sup>2</sup>)  
吹上げ荷重性能: 1,728N/m<sup>2</sup> 取付たかさ10m (3階程度)までの風圧に耐えます。

メンテナンスについて: ひさしの見上部分は雨が当たらないので、埃・汚れが溜まります。落下に注意した上で、年に数回は水拭きして下さい。又はホースで人工的に水をかけてもいいです。白錆の原因を洗い流して一層長持ちします。

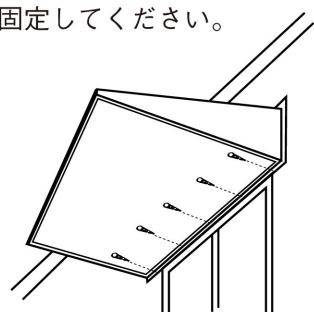
## ※ビス、釘、ボルト(現場手配品)について

本体長さ	ビス、釘使用の数量	ボルト使用の場合	下がり部打付用ビス、釘 (アガーチョー 220 100 枚の場合)
間口 750mm 870mm	8本以上	ボルト2本+ビス、釘2本(両端下がり部)	2本
間口1040mm 1200mm	8本以上	ボルト3本+ビス、釘2本	3本
間口1490mm 1650mm	10本以上	ボルト4本+ビス、釘2本	4本
間口1950mm 2100mm	12本以上	ボルト5本+ビス、釘2本	5本
間口2860mm 3020mm	16本以上	ボルト7本+ビス、釘2本	7本
間口3700mm 3920mm	20本以上	ボルト9本+ビス、釘2本	9本

いずれも外壁を含まず下地表面から40mm以上の長さのあるものをご使用ください。  
(後付の場合、外壁が25mmだとしたら65mm以上のビスを使用)

ビス、釘、アンカーボルト類は製品に含まれません。現場にて外壁や下地に合わせて用意下されば幸いです。木ネジ、鉄骨ビス、ALCビス、コンクリートビスなど、ステンレス製ひさしの取付にはステンレス製ビス使用をおすすめします。木、鉄骨、ALC等下地の劣化や強度不足、ビス、ボルトの劣化による製品の落下や破損事故などの損害については一切の責任に応じかねます。

下がり部は柱・間柱に釘(ビス)で固定してください。



(アプローチ750 920  
1000 ネオの場合)